

[金城好春議員 登壇]

○14番 金城好春君 一般質問2日目、トップバッターとして2つの質問をいたします。よろしくお願ひします。まず1点目、蝶のオオゴマダラの活用についてであります。先月、5月31日の新聞報道で「シンポジウム第2弾 沖縄県の蝶々（県蝶）制定を目指して！」と小見出しがあり、更に大見出しとして「環境、観光、教育 多面的な意義」と掲載されておりました。県の蝶制定の理念として、制定で原風景を保全、古来の生物を大切に、沖縄独特の観光資源、子の情操教育に活用と紹介されておりました。また、来賓として招かれた翁長雄志知事の祝辞の中で、沖縄の優れた景観や生物多様性を支える地域を保全するための各種施策に取り組む。自然保護活動などへのご理解とご協力をお願ひする。シンポジウムが県蝶制定につながる県民議論の高まりにつながることを期待すると述べておりました。海も山も観光資源もないわが南風原町に、どうやって観光客を呼ぶか考えたときに、南風原町の黄金森に蝶々がいっぱい飛び回っていたら、観光客も増えるのではないかと考えた次第です。そこで、お伺ひします。（1）黄金森公園内にオオゴマダラのチョウハウスを設置してオオゴマダラを黄金森に飛ばす考えはないか。（2）オオゴマダラの食草であるホウライカガミを黄金森公園内に植栽できないか。（3）希望する本町の学校に、オオゴマダラのチョウハウスを設置できないか。

次に2点目、県の事業「沖縄離島体験交流促進事業」についてお伺ひします。（1）どのような事業内容か。（2）何月から何月まで実施できるか。（3）町内の学校も希望すれば事業に参加できるか。（4）町内の小学校は申し込んでいるか。以上、2点お伺ひします。よろしくお願ひします。

○議長 宮城清政君 副町長。

○副町長 国吉真章君 質問事項1点目の蝶のオオゴマダラの活用について（1）と（2）は関連いたしますので一括してお答えいたします。現在、黄金森公園整備公園計画では、チョウハウスの設置計画はございません。公園は住民が憩い、または遊びを楽しむために公開された場であることから、いろんな方々が利用しており、中には昆虫等が苦手な利用者もいます。ホウライカガミはそれを食草とするオオゴマダラ、またその幼虫がホウライカガミに生息すると考えられ、昆虫等が苦手な利用者もいることから公園への植樹は厳しいと考えております。

○議長 宮城清政君 教育長。

○教育長 赤嶺正之君 金城好春議員のご質問にお答えいたします。質問事項1（3）オオゴマダラのチョウハウスを町立学校に設置できないかというご質問にお答えいたします。現在、北丘小学校がオオゴマダラのチョウハウスを設置しております。チョウハウスの設置は、学校長の判断により設置するものと考えております。

続きまして質問事項2. 県の事業の沖縄離島体験交流促進事業に関するご質問にお答えいたします。(1)でございますが、将来を担う児童が離島の重要性、特殊性及び魅力に対する認識を深めるとともに、沖縄本島と離島との交流促進により離島地域の活性化を図るため離島へ派遣し、体験交流を行う事業となっております。

(2)でございますが、平成28年度は5月から12月までの期間で事業を実施しております。

(3)、(4)につきましては、関連いたしますので一括して答弁いたします。本町五年生の児童が同事業に参加しております。平成28年度は津嘉山小学校が6月8日から10日まで渡嘉敷島、北丘小学校が6月8日から10日まで伊良部島、翔南小学校が7月13日から15日まで伊是名島での離島体験交流に参加いたしました。今年度は、南風原小学校が7月5日から7日まで伊良部島での離島体験交流に参加する予定でございます。以上でございます。

○議長 宮城清政君 14番 金城好春議員。

○14番 金城好春君 再質問いたしたいと思います。議会があるたび、いつも役場に来る時に、車を駐車場に停めて役場に入るまでのこの30メートル通路には小さな草花が咲いているのを見ます。この草花に、黄色い小さなチョウ、それから橙色のチョウ、それから白いモンシロチョウでしょうか飛び交っています。昨日も雨降りでありながら飛んでいるのが見かけられました。これを嫌がる人がいるのでしょうか。聞いたことがありません。心が和みますよ。蝶々が飛んでいるね、迎えてくれているねと。またその飛び方がとても優雅です。これをすぐに昆虫嫌いがいるからできませんというのには、もう少し真剣に考えたほうがいいかと思います。今年中にもしかしたら県の蝶々として制定するかも知れません。木、花、それから鳥、魚は制定が実現していますけれども、この多様性を持った昆虫も制定したほうがいいのではないかという思いでいろんな分野の方々がこのシンポジウムを開いているわけです。その中に若狭小学校の校長先生も参加なされて自分の思いを新聞で公表しているのですけれども、若狭小学校はハウスを造ってオオゴマダラを飼ってしまして、100匹いるそうです。校長先生の部屋ではさなぎを育てていると。子どもたちは、オオゴマダラの成長を見守りながら、それとホウライカガミを育てて、更に観察をしている。これこそ情操教育につながるのではないですか。教育長のご見解を伺います。

○議長 宮城清政君 教育長。

○教育長 赤嶺正之君 ただいまのご質問にお答えいたします。確かに児童生徒の情操教育から考えますと、そのようなことも言えるかと認識は致します。ただ、情操教育もいろいろと選択肢があるわけございまして、やはり教育委員会といたしましては行政のサポートあるいはまた学校現場の経営は校長先生の範疇でございますので学校長の判断を尊重していきたいと考えております。以上です。

○議長 宮城清政君 14番 金城好春議員。

○14番 金城好春君 小学校、中学校でこのハウスがあるのは何カ所か分かりませんが、近くには古波蔵の漫湖公園テニスコートのすぐ隣にオオゴマダラのハウスが設置されています。部長、課長の皆さんはそこに行かれたことがおありでしょうか。では、町長、副町長にお答え願いたいと思います。

○議長 宮城清政君 町長。

○町長 城間俊安君 漫湖公園にあるオオゴマダラのハウスには行ったことはありません。

○議長 宮城清政君 14番 金城好春議員。

○14番 金城好春君 ぜひ行っていただきますようお願いします。ウォーキングをしに行ったりしますが、たまにオオゴマダラが目の前をひらひら舞っていたりします。向こうは花もいっぱい年から年中植えられていまして、また違った公園の楽しみ方ができます。ぜひ、部長、課長も土曜、日曜訪ねて行って中を観察してきていただきたいと思います。

私たちが小さい時は、トンボもいっぱい、セミもホタルもいっぱいいました。私たちが虫取りをしていた虫は、ほとんどいなくなっています。夏場で言うとセミですが、クマゼミはまだ屋敷内にも木にとまっていて声を聞くことができます。しかし、アブラゼミや秋口に鳴くセミ、そういうセミもだいぶ少なくなりました。黄金森に来ますと、アブラゼミは耳をつんざくぐらい鳴いています。この黄金森以上にセミが鳴く所はどこにもないんじゃないですか。そう思います。自然が南風原町から失われていると言わざるを得ません。先ほど始まる前に勝議員と話しましたが、那覇市首里に末吉公園があります。1週間前、そこにホタルを見に行ってきました。谷底になっていまして、駐車場から100段くらいの階段を下りると川が流れていますね。川のせせらぎを聞きながら橋を渡りましたら、山道がありましてこれを上っていくのですが、だんだん薄暗くなって、真っ暗な世界にたどり着いた時にホタルが無数に飛んでいました。南風原にはいないホタルが、那覇の末吉公園にいました。これはもう感動ですよ。昔いたホタルが、那覇市の末吉公園の中に無数にいと、感動を覚えました。こういう感動です。子どもたちに、あるいは町民に、あるいは観光客に与えられたら素晴らしいまちが誕生するのではないかと。このシンポジウムの中でも、沖縄県特有の昆虫がいっぱいいるので、観光客に見せたらまたもう一度見に行こうと、何回でもやって来るのではないかと期待をしています。そういうことで、もう少し議論をして、結論をすぐに出すのではなくて、このチョウハウスを考えていただけないでしょうか。もう一度、お伺いしたいと思います。

○議長 宮城清政君 教育部長。

○教育部長 宮平 暢君 教育委員会、各学校におきましては、平成29年度より新たに赴任された北丘小学校の校長の判断においてチョウハウスを設置しております。現在の状況としては、黄金色に輝くさなぎの状態で孵化目前にしていると聞いております。このように、教育委員会におきましては、学校長の判断においてチョウハウスを設置、あるいはまた山羊の飼育等のようなかたちで学校経営については学校長判断でやっているということであります。

○議長 宮城清政君 14番 金城好春議員。

○14番 金城好春君 ありがとうございます。まずは学校からこのオオゴマダラを育てて、飛ばせることができたなら大変嬉しく思います。世界的に有名な昆虫博士ファーブルも小さい時から身近にいる虫を見て、研究して素晴らしい昆虫学者になりました。身近にこの小動物がいないと何も分からない、何も生まれない、感動も何も生まれません。情操教育として、やはりこの育てるというのも、見せるというのも大事ではないかと思っておりますので、どうか前向きにご検討していただきますようチョウハウスについて要望して終わりたいと思っております。よろしくお願いたします。

次に2点目の県の事業「沖縄離島体験交流促進事業」についてですけれども、去年から参加しているということですが、一過性の事業なのか、ずっとこれからも続く事業なのかをお伺いします。

○議長 宮城清政君 教育部長。

○教育部長 宮平 暢君 県の事業となりますので、こちらで何年度までやるということはお答えできませんが、同事業につきましては平成22年度から実施している事業となっております。

○議長 宮城清政君 14番 金城好春議員。

○14番 金城好春君 ありがとうございます。冒頭申し上げましたように、海も山もないこの南風原町ですから、特に離島の浜はものすごくきれいな砂浜です。私もまた近くにある栗国島へ日帰りで行って来たのですが、向こうは港に着いたら自転車が置かれています。それを観光協会でしたか申し込んで自転車を借りて島内一周して来たのですが、半分しか回っていません。見るのは畑と白い砂浜、とても長い砂浜が栗国島にはありました。日帰りということで長くはいませんでしたが、やはり行ったことがない所に行きますといろんな勉強ができると思っておりますので、進んで申し込んでいただきたいと思います。では、去年は五年生、今年

も五年生でしょうか。そして今年は1校ですけれども、あとの3校はどのようにして離島体験をさせるおつもりですか。

○議長 宮城清政君 教育部長。

○教育部長 宮平 暢君 この事業の対象学年は、五年生となっております。ですから、昨年も五年生、今年度も南風原小学校の五年生が行く予定となっております。またこの事業は、県内の各小学校から募集されることから、抽選による選定となっております。ですから、今年度も南風原町内4小学校が申し込んだのですが、南風原小学校だけが選定されたということになっております。

○議長 宮城清政君 14番 金城好春議員。

○14番 金城好春君 抽選ということであればどうしようもないと言いますか、この事業は一括交付金活用の事業でしょうかお伺いします。

○議長 宮城清政君 教育部長。

○教育部長 宮平 暢君 確認しておりませんので、一括交付金か確認します。ただ、県の21世紀ビジョンに沿った事業と認識しております。

○議長 宮城清政君 14番 金城好春議員。

○14番 金城好春君 ぜひ長くこの事業が続けられるように町からも要望していただいて、小学校時代に全児童が離島体験できるように要望して私の質問を終わります。ありがとうございました。